

## 学校関係者評価報告書

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校

学校番号 (38)

評価実施日		令和3年2月24日 (火)	
委員	氏名	所属等	備考
	竹崎幸仁	学校関係者評価委員	
	奥野柳之介	学校関係者評価委員	
	片山勇一	学校関係者評価委員	
	小谷和彦	学校関係者評価委員	
	樋口美和	学校関係者評価委員	
	滝澤治	学校関係者評価委員	
	黒田マヤ	学校関係者評価委員	
	三好栄治	学校関係者評価委員	欠席
	宇都宮美由	学校関係者評価委員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
<p><b>1 学校運営等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コロナ禍により地域で活動するチャンスが減少したが、地域からの要望に応え、創意工夫をしながらボランティア活動ができています。</li> <li>○ 生徒の主体性を育てるために何ができるか具体的に考えてほしい。地域としてはボランティア活動やジオパークのPR活動で連携を取りたい。</li> <li>○ 挨拶に関しては、昨年度より教職員・生徒の高いレベルでの意識付けができています。</li> <li>○ 地域の方と接するときの分校生の礼儀・マナーが悪いので指導してほしい。</li> <li>○ HPの更新が頻繁に行われ、メディアを通してのPR活動ができています。</li> <li>○ 教職員の時間外勤務の短縮に努めている。</li> <li>○ 全体を通して評価が上がっているのが2項目、それ以外はすべて評価が下がっている。生徒の活力がなくなってきたのか。次年度の改善策は今年度の活動とあまり変化していないようだが工夫しているか。</li> <li>○ 学校の存続と生徒の確保について具体的にしていることは何か。</li> </ul> <p><b>2 学習指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 皆勤率が近年低下傾向にある。今年度は2学期末現在で39.6%となっている。</li> <li>○ 授業アンケートの結果、「授業の内容が理解できているか」の評価が4.06ポイントで評価がBとなっている。</li> <li>○ 学習時間は昨年より60分程度減少しているところが気になる。欠点数は例年に比べると減少している。</li> <li>○ 中学生1日体験入学では20名の参加があった。体験後のアンケートの内容は好評であったが、本校への進学には結びついていない状況であるので、生徒確保に向けた、今後の方針やそのための工夫をお願いしたい。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とコミュニケーションを取りながら、自己肯定感や自己有用感を味わえるようにしたい。</li> <li>・生徒の主体性を育てるため、地域と協力して鍾乳洞のPRやジオパーク案内を行うなど校外に出る機会を設けたい。</li> <li>・あいさつの声が大きくなるように教室の雰囲気改善したり、教員が気持ちよい挨拶を返すようにしたい。</li> <li>・具体的目標の下線部が前年度の改善策を見て、今年度変化させたところである。改善策に画期的なものがないのは学校側の知恵不足だと思う。来年度は具体的目標のところを工夫して設定したい。</li> <li>・三瓶分校活性化委員会地域の方か意見を伺いながら計画、実行していきたい。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用するなど、さらに生徒が興味・関心を持つ授業、分かりやすい授業に努めたい。</li> <li>・スタディーサプリや普通の授業でのICT機器がより効果的に活用できるように研究したい。</li> <li>・課題の事後指導を徹底させたい。</li> <li>・学校説明会の機会や対象中学校を増やし、学校をアピールするとともに、全国募集も視野に入れた生徒確保に努めたい。</li> </ul>	

### 3 生徒指導・安全指導・特別活動

- コロナ禍でボランティア活動があまりできていない。
- 部活動では、加入率は100%で各部小人数ではあるが一生懸命に活動している。
- 美しい学校環境づくりでは、生徒数減少により学校全体の美化が難しくなっているが工夫して学校環境を整備している。

### 4 進路指導

- コロナ禍で求人職種に偏りがあったが、志望校合格就職内定100%である。
- 年2回の保護者懇談（三者面談）できている。
- スタディーサプリ課題テストが活用できている。
- 進路情報の提供については、オープンキャンパスの案内や各学年での進路に関するホームルーム活動が実施できている。
- 3年生についてはオープンキャンパスや校外の進路説明会に積極的に参加している。

### 5 人権教育

- 人との間隔をあけることで、講演会を開催できた。
- コロナの影響で、生徒参加の行事が中止となり、教員主体の人権だより発刊となっている。
- 人権委員の活躍の場を確保できていない。

### 6 現職教育

- 公開授業は教員の相互参観の数が増えたが、外部からの参加者が少ない。生徒は案内プリントを保護者に渡していないようだ。

### 7 保健・安全管理

- 保健・安全管理では生徒の健康・安全を第一にコロナ対策に取り組んでいる。三瓶分校から感染者が出ないように今後とも気を緩めずに最大限の注意を払ってほしい。

### 8 事務

- 100周年に向けて、美しい学校環境づくりができた。
- コロナ対策の予算で、オンライン教育に必要なテレビなどが購入できている。

### 9 その他

- SNSによるトラブルが1件あるが、スマホの使い方について保護者と連携して指導しているか。
- スマホで知らないネット友達と繋がっている生徒がいるので注意してほしい。
- PTAでもSNSの保護者向けの研修会などを企画したい。
- スマホを使った授業実践を行っているか。
- 地域の企業が新卒採用を希望している。商工会青年部と学校、地元企業が交流する場を設定してほしい。

- ・地域の要望に応えるべく普段からアンテナを張り、コミュニケーションを取りながら進めたい。
- ・宇和高との合同活動を通して各種大会に出場して、積極的な生徒の活動を引き出したい。
- ・生徒数減少の中で一部に負担がかからないよう全校で行事の準備や清掃等に取り組めるようにしたい。

- ・保護者と学校が一体となって進路指導の更なる充実に努めたい。
- ・参考となるWebサイトの紹介や説明、ガイダンス等を行うことで、低学年から将来の進路デザインを構築できる活動を充実させたい。
- ・コロナウイルスが終息すれば、応募前職場見学や就業体験活動などを通して勤労観を育む活動を継続していきたい。
- ・オンラインでのオープンキャンパス等への参加を積極的に支援する。

- ・コロナウイルス感染症拡大の中でもオンライン等での研修を充実させる。
- ・普段の生活から情報発信に対する責任を意識させたい。

- ・プリント、HPと一緒にマチコミメールでも案内したい。
- ・公開授業を研究授業として捉えてもらえるよう方法を考えたい。

- ・保健委員会で校内放送や掲示物の作成、換気等の環境衛生活動を実施し、分校生の健康課題を解決したい。
- ・健康だよりの記事を生徒に主体的に作らせたい。

- ・環境整備と安全管理を徹底し、修繕箇所の早期発見、早期対応を図りたい。
- ・本校と連携しながら教育効果を上げるための予算執行に努めたい。

- ・PTA作成の「スマホのきまり」を参考に、家庭と協力して指導していきたい。
- ・スマホのアンケート機能を使用している教員はいるが、一般的ではない。教員がICTを使いこなせるように努力したい。
- ・係の方で検討したい。